

令和2年度（第47回）

岡山市文化奨励賞



文化奨励賞賞牌 大桐國光作

岡山市

令和2年度 (第47回) 岡山市文化奨励賞

学術部門

もり やま けい
森山 圭

生年月日：昭和50年1月15日(45歳)

住 所：岡山市中区乙多見



■表彰理由

森山氏は、就実大学薬学部准教授として、薬学部学生の教育に携わり、薬剤師の育成に力を注いでいる一方で、特に「ラマン分光法」などの分光分析手法を用いた新しい医薬品分析技術の開発をテーマとして研究しており、これまでの研究実績を基に粉薬を自動的に判別する分析装置「コナミル」を開発した。2019年7月には、就実大学初となるベンチャー企業である「株式会社ウィズレイ」を設立し、代表取締役として、同装置の2020年度中の市販化を目指している。同装置の普及は、調剤監査などの病院・薬局の薬剤師が行う対物業務の負担軽減に大きく貢献することが期待されている。

同氏のこうした新たな挑戦は、地方都市に拠点を構えた研究開発型イノベーションの優れたモデルケースとして注目されており、将来性のある研究開発活動として奨励し、今後の活躍を期待して本賞を贈る。

■略歴

- 平成5年3月 岡山県立総社高等学校卒業
- 平成9年3月 岡山大学薬学部卒業
- 平成11年3月 岡山大学大学院薬学研究科修了
- 平成14年3月 岡山大学大学院自然科学研究科修了 博士(薬学)
- 平成14年4月 東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員
- 平成16年4月 就実大学薬学部 助手
- 平成19年4月 就実大学薬学部 助教
- 平成19年10月 大塚製薬株式会社製剤研究所 研究員
- 平成25年4月 就実大学薬学部 講師
- 平成30年4月 就実大学薬学部 准教授
- 平成30年11月 第1回岡山テックプランングランプリ 中国銀行賞・日本ユニシス賞受賞
- 令和元年7月 株式会社ウィズレイ設立 代表取締役
- 令和元年11月 岡山イノベーションコンテスト2019 ビジネス部門スタートアップの部 大賞受賞

芸術部門

こん どう ひろ こ 近藤 浩子

生年月日：昭和37年6月7日(58歳)

住 所：岡山市北区津島西坂



■表彰理由

近藤氏は、岡車で初めてのプロオーケストラとして誕生した岡山フィルハーモニック管弦楽団の創設初期からヴァイオリン奏者として加わり、鋭い感性と卓越した技術により、しなやかで豊かな演奏を披露している。コンサートマスターに就任してからは、指揮者との信頼関係を基盤としながら、芸術家集団である楽団員をまとめ、オーケストラを牽引している。

平成16年には、演奏家団体OACMS(オークムス)を設立し、代表として地域を巻き込み、様々な演奏活動を行っている。さらに、ボランティア演奏会を開催したり、学校教育の場で後進の指導をしたりするなど、地域文化の向上と発展に貢献している。

また、ニュージーランドのマオリ族ら海外の音楽文化との交流活動への取組をはじめ、音楽と美術・デザイン・映像・ダンスなど多様な芸術を融合した無限の表現の可能性を追求しようとしている。

岡山市の芸術文化の振興と教育普及に貢献している点を評価するとともに、今後もその活動を継続することを期待して本賞を贈る。

■略歴

- 昭和56年3月 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業
- 昭和60年3月 東京藝術大学音楽学部器楽科(ヴァイオリン専攻)卒業
- 昭和60年4月 東京フィルハーモニー交響楽団入団
- 昭和63年9月 Ifra Neaman氏に師事 ロンドン留学 イギリス各地で演奏会
- 平成6年11月 岡山フィルハーモニック管弦楽団入団
- 平成16年9月 演奏家団体OACMS(オークムス)設立 代表
- 平成18年9月 岡山フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスター就任
- 平成20年4月 岡山大学教育学部 非常勤講師
- 平成20年4月 山陽女子中学校・高等学校 特別講師
- 平成22年4月 中国短期大学音楽科 非常勤講師
- 平成29年1月 ニュージーランド ホキアングでマオリ族と音楽交流会
- 平成30年4月 ニュージーランドの演奏家を岡山に招聘し交流演奏会

経 過

本年度で47回目を迎える岡山市文化奨励賞は、岡山市における文化の向上に中堅的存在として活躍している市民を表彰し、今後一層の研鑽を奨励するため、昭和49年に制定しました。

今回も、市内の関係方面に候補者の推薦をお願いし、多数のご推薦をいただきました。その後、選考委員会の選考、岡山市長の決議を経て、学術部門は森山圭氏、芸術部門は近藤浩子氏を受賞者と決定しました。

受賞者には、本賞(賞状及び賞牌)並びに副賞(賞金)を贈ります。賞牌は大桐國光氏が制作したブロンズ浮彫です。

なお、この賞の受賞者は、今年度で学術部門は7団体・40名、芸術部門は4団体・42名となりました。

令和2年11月16日

岡 山 市

岡山市文化奨励賞受賞者一覧

第1回	学術部門	岡山民俗学会	第25回	学術部門	山本力(心理学)
	芸術部門	坂本明子(現代詩)		芸術部門	内田智也(版画)
第2回	学術部門	長光徳和(歴史学)	第26回	学術部門	内定兼学(歴史学)
	芸術部門	大月宗明(邦楽)		芸術部門	安藤清和(現代美術)
第3回	学術部門	間壁忠彦(考古学)	第27回	学術部門	安岸田芳朗(農学)
	芸術部門	横田建三(洋画)		芸術部門	浦田隆司(音楽)
第4回	学術部門	鶴藤鹿忠(民俗学)	第28回	学術部門	小倉俊郎(医学)
	芸術部門	片山康雄(洋楽)		芸術部門	小浮田隆司(美術振興)
第5回	学術部門	岡山民話の会	第29回	学術部門	浮柴田奈美(国文学)
	芸術部門	深田恒弘(陶芸)		芸術部門	山崎繁男(パントマイム)
第6回	学術部門	県立興陽高等学校農業研究部	第30回	学術部門	岡山地方史研究会
	芸術部門	三沢浩二(現代詩)		芸術部門	上月恵(洋楽)
第7回	学術部門	加原耕作(歴史学)	第31回	学術部門	上松武彦(考古学)
	芸術部門	加金谷哲郎(彫刻)		芸術部門	佐藤淑子(舞踊)
第8回	学術部門	西川宏(考古学)	第32回	学術部門	塩田澄子(微生物学)
	芸術部門	星島明郎(洋楽)		芸術部門	嘉数彰彦(映像芸術)
第9回	学術部門	太田健一(歴史学)	第33回	学術部門	近森秀高(流域水文学)
	芸術部門	成本和一子(童話)		芸術部門	有松啓介(ガラス工芸)
第10回	学術部門	小野和道子(書道)	第34回	学術部門	戸上泉(医学)
	芸術部門	棚田国雄(洋楽)		芸術部門	よしもと正人(彫刻)
第11回	学術部門	斎藤伸英(地理学)	第35回	学術部門	三村由香里(スポーツ医学)
	芸術部門	岡田弘(写真)		芸術部門	南川茂樹(木デザイン)
第12回	学術部門	朝森要(歴史学)	第36回	学術部門	宇垣匡雅(考古学)
	芸術部門	菱川欣三郎(洋楽)		芸術部門	斎藤恵子(現代詩)
第13回	学術部門	南智(地理学)	第37回	学術部門	木下浩(民俗学)
	芸術部門	末森智子(工芸)		芸術部門	(受賞者なし)
第14回	学術部門	後神俊文(近代史)	第38回	学術部門	青木康嘉(近代史)
	芸術部門	香川昌久(洋画)		芸術部門	宮崎郁子(人形芸術)
第15回	学術部門	高橋護(考古学)	第39回	学術部門	和田淳(医学)
	芸術部門	平田稔(商業美術)		芸術部門	岡山市民合唱団鷺羽
第16回	学術部門	臼井英治(文化史)	第40回	学術部門	山川隆之(出版)
	芸術部門	小野子(洋舞)		芸術部門	青地大輔(写真)
第17回	学術部門	沖陽子(植物学)	第41回	学術部門	林原美術館(博物館)
	芸術部門	森尚(彫刻)		芸術部門	アートファーム(舞台芸術)
第18回	学術部門	森元辰昭(近代史)	第42回	学術部門	内池英樹(歴史学)
	芸術部門	歳森拓也(書道)		芸術部門	小川孝雄(映画)
第19回	学術部門	間壁葎子(考古学)	第43回	学術部門	喜多村真治(医学)
	芸術部門	森下勲(彫刻)		芸術部門	池田靖嗣(バティックの粧)
第20回	学術部門	井上啓治(国文学)	第44回	学術部門	岡山大学附属図書館
	学術部門	高橋和成(生物学)		芸術部門	石田彩(ガラス工芸)
第21回	学術部門	岡鐵雄(植物学)	第45回	学術部門	県立記録資料館古文書解読同好会
	芸術部門	岡山シンフォニックバンド		芸術部門	出口裕子(音楽)
第22回	学術部門	草地功(鉱物学)	第46回	学術部門	万城昭(歴史学)
	芸術部門	藤沢陽一(演劇)		芸術部門	岡山大学大学院教育学研究科
第23回	学術部門	高橋香代(スポーツ医学)		国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座	
	芸術部門	松島巖(ガラス工芸)	第47回	学術部門	森山圭(薬学)
第24回	学術部門	香田康年(生物学)		芸術部門	近藤浩子(洋楽)
	芸術部門	小林照尚(彫刻)			